令和５年度 第１回 介護保険運営協議会議事録

開催日時　令和５年６月22日（木）午後２時00分から午後４時00分まで
開催場所　横須賀市役所　消防局庁舎４階　災害対策本部室
出 席 者
【委　員】橋本委員長、秋澤委員、五十嵐委員、工藤委員、髙﨑委員、武尾委員、
玉井委員、仲委員、三浦委員、安田委員
（欠席）　鈴木副委員長、大島委員、金井委員、嶋口委員、星名委員
【事務局】藤崎福祉こども部長
介護保険課：宍戸課長、関澤係長、小西主査、佐藤係長、竹内(晶)主査、
茂木係長、国部係長、有馬主任、川口主任、瀬川
福祉総務課：清家係長
地域福祉課：椿課長
指導監査課：吉田課長、安藤主査、瀬戸
福祉施設課：青木次長、関主査
健康増進課：川田課長、竹内(和)主査
【傍聴者】３名

１　開　会

事務局（介護保険課長）の司会で開会した。

２　委員の交代及び事務局の紹介

佐野委員の退任に伴う新任委員（嶋口委員／横須賀市民生委員児童委員協議会常任理事）の就任について、事務局から紹介した。また、今年度の人事異動に伴う事務局職員の変更を報告した。

３　議　題

（１）介護保険運営状況について【報告事項】

事務局から【資料１】に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委　員　８ページの「搬送サービス」で、事業所の人員不足とのことであるが、それ以外の部門でも、人手不足によりサービスの提供ができない事例があるのか。

事務局　搬送サービスのみが不足している訳ではなく、施設サービスも含めて全般的に人手不足の状況が続いている。

委　員　先般、デイサービスの事業所へ「搬送サービス（指定）に係る意向調査」を行っているが、その結果はどうか。

事務局　約40事業所から回答があり、そのうち３割の事業所が「市の制度が変われば、サービスの実施を検討したい」という結果であった。また、デイサービスの送迎時に、（２人対応など）特別な対応を行った事業所は８割にのぼり、そのうち約４割が「谷戸などの環境で（送迎が難しく）、サービスを断ったことがある」という回答であった。市としては、専任（兼務）や加算等、どのような形で指定を広げるのがベストなのか、引き続き検討したい。

委　員　８ページの「施設入浴サービス」の利用が減少した理由について、「自宅浴槽のバリアフリー化が進んだこと」を挙げておられたが、疑問に思う。住宅改修や福祉用具の設置が増えたのか。

事務局　介護保険制度の開始（平成12年）以降、自宅のバリアフリー化が徐々に進み、長期的に見て、施設入浴サービスの利用が低下した一因であると考えられる。

委　員　人手不足以外の要因があるのではないか？

事務局　事業所にアンケートを毎年とっている。施設入浴サービスについては、ニーズが減っていることと、そのため配置職員を確保しづらくなり、新たな利用申し込みにこたえられないというジレンマに陥っているところもある。搬送サービスについては、職員の高齢化や人手不足といった理由が大半を占めている。ほかに要因がないか、引き続き検討をしていく。

委　員　２ページの「５　サービス利用者数」で、「要支援」の人のサービス利用率が低いが、どのような要因が考えられるか。要支援認定されている方がサービスを利用すれば、フレイルの進行を抑制したり、「非該当」になる可能性も考えられる。市役所や地域包括支援センターで、そういった対象者をスクリーニング（抽出）するなど、何か対策を検討しないのか。

事務局　現在のところ、「要支援認定を受けていながら、サービスを利用していない方」について、詳細は把握できていない。今後、可能な範囲で調査して、当協議会で報告できるようにしたい。

委　員　４、６、８ページの予算執行率に関連して、コロナによる介護サービスの「利用控え」についての言及があったが、その影響はどこに出ているのか？市として何か対応しているのか？

事務局　第９期計画策定のために実施したアンケートでは、家族の負担が少し増えたという回答が見られたが、現在、そういった方々への具体的なサポート

は行っていない。

委　員　　介護人材の不足について、どの職種が不足しているのか。

事務局　　【資料３－③】介護人材実態調査の７ページ（３）で、「介護職員」が不足しているという回答が最も多かった。

委　員　　今後の人手不足について、医療の分野では、（医療と）介護との枠を越えたワーキンググループを設置して「医療計画」に反映させるような取り組みを行っている。その点、介護の分野はどうか。

事務局　　在宅療養連携会議がその役割を果たしていると思われるが、本日は所管課（地域福祉課）の職員が不在のため、次回、改めて説明させていただきたい。

（２）地域密着型サービスについて

【意見聴取事項（事後）】

地域密着型サービス事業者等の指定に係る意見について

事務局から【資料２】に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委　員　　Miasaリハビリステーション走水は午前と午後の２単位だが、「その他の利用料」に昼食とおやつの記載がある。提供しているのか。

事務局　　食事は午前の部の利用者に提供している。

委員長　　７ページの⑦「相談室」について、ドアを閉めた状態か、あるいは遮へい物等の設置状況が確認できる写真（相談内容が外部へ漏えいしないことが分かる画像）を今後はご用意いただきたい。

事務局　　今後は、明確な画像を用意する。

【報告事項】

①地域密着型サービス事業者等の指定更新について

②地域密着型サービス事業の廃止について

事務局から【資料２－１】、【資料２－２】に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委　員　　【資料２－２】について、（社福）ユーアイ二十一が「介護予防（小規模多機能型居宅介護）」のみ廃止した理由は何か。

事務局　　介護予防サービス（要支援）の利用者が少なかったこと、また、法人として要介護の方々のケアに重点を置きたい主旨の話を伺っている。

委　員　　２法人の事業譲渡があるが、これは経営的に厳しかったということか。

事務局　　Miasaリハビリステーション走水については、事業譲渡した理由は把握し

ていない。また、あすりはデイサービスについては、法人の運営者の高齢化に伴う事業譲渡と聞いている。

４　情報提供

（１）横須賀市高齢者保健福祉計画（第９期介護保険事業計画を含む）の策定に向けた市民アンケートの結果について

事務局から【資料３－①～３－⑤】に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委　員　【資料３－③】７～８ページで、介護職員の賃金が低いという回答が半数以上を占めていて、その一方で、16ページ（３）「１週間当たり勤務時間」は、飛び抜けて高い訳でもない。これは、時間あたりの単価が低いということか。また、他都市と比較してどうなのか。

事務局　他都市との比較はできていないが、厚生労働省のシステム（見える化システム）で確認できれば、比較・分析したい。

委　員　【資料３－③】10ページに「介護ロボットやICTの導入による・・・」とあるが、行政による介護現場のDX化支援はどうか。IT専門官を派遣したり、事業所への助言を行うなどの取組みは行わないのか。

事務局　現在は行っていないが、今後検討したい。

委員長　アンケートに「(事業所が）人材を保持するために工夫している取組み」といった、前向きな項目があっても良いのではないか。

事務局　次回のアンケートの際に検討したい。

（２）新型コロナウイルス感染症への対応について（高齢者関係）

事務局から【資料４】に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委　員　資料の最下段「人員基準等の臨時的な取扱い」は、終了しているという認識でよいか。

事務局　この「臨時的な取扱い」については、人員基準の柔軟な対応等、一部は今後も継続する。

委　員　全部の措置が終了した訳ではないということか。

事務局　お見込みのとおりである。

委員長　ところで、【資料４】のコロナ対応は概ね終了しているが、今後も本協議会での報告を継続すべきか。

事務局　事務局としては、今回をもって終了としたい。

委　員　（異議なし）

５　その他

事務局から案件はなかった。

６　閉　会

次回の開催は令和５年10月19日（木）午後２時からを予定していることを事務局（介護保険課長）から提示し、閉会した。

※この議事録は委員等の発言の要点筆記である。

以上